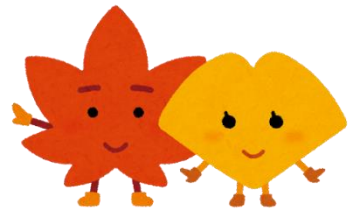


図書館だより

令和5年9月
八尾高校図書委員会
34H 西田・濱

今月のテーマ『秋』



皆さんこんにちは！夏休みはどうでしたか？夏も終盤に差し掛かり、いよいよ秋が近づいてきましたね。今月のテーマは「秋」です。そこで、図書委員会からは、秋を舞台にした作品や秋に関連する作品を紹介します。



「君にさよならを言わない」 七月隆文 宝島社

事故がきっかけで幽霊が見えるようになった主人公、明は、六年前に亡くなった初恋の幼馴染、桃香をはじめ、未練を残して亡くなった少女たちに出会う。彼女たちの未練を晴らすために奔走する明と、幽霊の彼女たちとの交流を描く感動の連作短編集。小説を普段読まない人でも気軽に読める、切なくて温かい作品です。

「夜のピクニック」 恩田陸 新潮社

北高で開催される「歩行祭」。80kmの行程を朝8時から24時間かけてひたすら“歩く”行事。高校3年生最後の「歩行祭」に臨む主人公の貴子は、この行事でひそかな賭けをしていた。それは“今まで抱えていた思いを告げる”ことである。

傍目から見ると、ただ歩いているだけ。長い距離を歩いていると、足は棒みたいになっていく。けれども、日常生活では感じない疲労感からか、登場人物たちは普段の学校生活では話せないことを話し始めます。ただ歩くだけなのに普段言えないことを語るとてもドラマチックな話です。

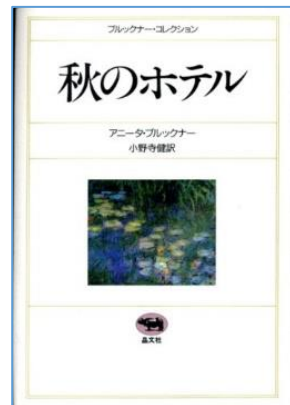


「十一月の扉」 高桜方子 リブリオ出版

中学2年生の爽子は親の転勤をきっかけに「十一月荘」にて2ヶ月間の下宿生活を送ることになります。オーナーののどかさん、シングルマザーの馥子さんとその娘のるみちゃん。キャリアウーマンな苑子さん。4人での心地よい下宿生活のなかで、爽子は1つの物語を書き上げることを目標に日々を過ごします。彼女たちのちょっとした言葉に読みながら元気をもらえます。

「秋のホテル」 アニータ・ブルックナー 小野寺健 訳 晶文社

舞台は秋のスイス。女性作家のイーディスは、スキャンダルから身を隠すため、英国から離れてジュネーブ湖畔のホテル・デュ・ラックを訪れる。そのホテルにいたのは、裕福だが何か欠落している謎めいた客たち。イーディスは彼らとの交流を通じて、過去の自身の恋愛について振り返っていく。愛を求めるも踏み出せない、孤独な女の心理を見事に表現した、心に深く残る作品です。



新着図書紹介

図書館前に
展示中!!!

ノーベル化学賞に輝いた研究のすごいところをわかりやすく説明してみた：山口悟 古事記転生：サム

ひと目でわかる宇宙のしくみとはたらき図鑑：渡部潤一

新しいゲノムの教科書：中井謙太

人体最強の臓器皮膚のふしぎ：梶島健治

朝日キーワード 2024：朝日新聞出版

亡命トンネル 29：ヘレナ・メリマン

日本とユダヤの古代史&世界史：田中英道

水族館飼育員のキッカイな日常：なんかの菌

親といるとなぜか苦しい：リンジー・C・ギブソン

なぜヒトだけが老いるのか：小林武彦

わたしの幸せな結婚 7：顎木あくみ

堤未果のショック・ドクトリン：堤未果

VISION 夢を叶える逆算思考：三笥薫

「おかえり」と言える、その日まで：中村富士美



グラブ職人：岸本耕作

この夏の星を見る：辻村深月

縁切り上等!：新川帆立

元ヤクザ弁護士：諸橋仁智

師匠はつらいよ：杉本昌隆

信長の正体：本郷和人

やり続ける力：内村航平

宇宙飛行士：鈴木喜生

ノウイトオール：森バジル

大ピンチずかん：鈴木のりたけ

アリアドネの声：井上真偽

ボーダー = Border：佐々涼子

言語の本質：今井むつみ

TAKANAKI WEEK ! (9月25日(月)~29日(金)) 図書委員会

しおりデザインコンテスト

福 BOOK やいます! お楽しみに!

